



5 時間目

港の種類

日本には、4000以上もの港がある。
規模の大きさや機能などで分けられる港の種類と、
代表的な125の港をしょうかいしよう。

港の分類法は2つ!
大きさ・重要度と役割で分ける

大きさ・重要度は、国の経済活動からみた港の総合力による分類。
役割は、港の使用目的による分類。
いろいろな船のすがたを思いうかべながらみていこう。



港の大きさ・重要度で分ける

船で大量の貨物が運びこまれ、運び出されていく港は、日本の産業をにやう輸送基地です。港湾法という法律では、漁港以外の港を規模の大きさや国際的な重要度などで分類し、国や都道府県が管理して、経済活動の安定をはかっています。

国際戦略港湾

国内輸送と国際輸送(貿易)の両面で機能がが高く、最重要とされる、東京、横浜、川崎、大阪、神戸の5港。中国やシンガポールとならぶ東アジアの拠点をめざし、超大型船が出入りできる岸壁を建設するなど、国の投資で強化を進めています。



写真提供: 神戸市



写真提供: 鹿児島県公式 HP

重要港湾

国際戦略港湾の次点の102港。主に国内輸送の拠点で、工業地帯などの近くにありま。

地方港湾

地域の経済活動に影響をもつ港。全国で808港が指定され、地方公共団体が管理しています。



写真提供: 名古屋港管理組合

国際拠点港湾

国際戦略港湾の次点にランクされる港。特に貿易の面で重要度が高く、国の経済活動に大きな影響をもちます。苫小牧、新潟、千葉、名古屋、広島、博多などの18港です。



大規模な港は
さまざまな役割の港の
集まりなんだ

港湾法で指定された重要な港

- 国際戦略港湾 5港
- 国際拠点港湾 18港
- 重要港湾 102港

(2013年4月1日時点)



と●の
23の港は
日本の貿易の窓口。
おぼえておいてね~

港の役割で分ける

どんな目的で利用するか、役割からみた港の分類です。港に出入りする船の種類や、積みおろしする貨物の内容による分類ともいえます。



商港

食品や衣類、家電製品などの生活用品と、旅客を積みおろしする港。コンテナ船やフェリーが利用。

工業港

鉄鉱石や石炭などの工業用原料を専用の運搬船で運びこみ、加工してできた製品を運び出す港。



写真提供: 四日市港管理組合

エネルギー港

石油や天然ガスなどのエネルギー資源を運びこみ、貯蔵する港。さまざまなタンカーがいきまします。



マリーナ・観光港

ヨットやプレジャーボートなど、レクリエーション用の小型船の係留や、観光船の発着を行う港。



漁港

漁船の専用港。全国に3000近くあり、大規模な漁港には、魚市場や水産加工場が隣接します。